# 令和８年度 「小学生すくすくウォッチ」結果について

東大阪市教育委員会 学校教育部 学校教育推進室

令和８年 10 月

大阪府が令和３年度より行っている「小学生すくすくウォッチ」（小学校５・６年生対象）について、東大阪市立小学校の結果をお伝えします。（調査目的等の概要はＰ１１に記載）

## ◇今年度の結果概要

### ＜教科横断型問題「わくわく問題」・教科問題＞

○「わくわく問題」「教科問題」ともに、平均正答数及び平均正答率は大阪府平均には届きませんでしたが、複数の資料や情報を関連付けて考える力や、自分の考えを表現する力について一定の成果が見られました。

○「わくわく問題」では、図や表、グラフ、文章、会話文などの複数の情報を関連付けて読み取り、それらを根拠に論理的に考えたり表現したりすることに課題が見られました。

○国語（５年）では、文章の内容を正しく理解することは概ねできていましたが、主語と述語の関係を意識した表現や、語句の意味の理解、ローマ字の表記に課題が見られました。

○算数（５年）では、時刻や数量の関係を読み取ることはできていましたが、数量の関係を式で表したり、図形の性質や資料の特徴を説明したりすることに課題が見られました。

○理科（５年）では、観察や実験を通して学習した内容の理解は見られましたが、学習した知識を生活場面と関連付けて考えたり説明したりすることに課題が見られました。

○理科（６年）では、自然事象や実験結果についての基礎的な理解は見られましたが、学習した知識を活用して考察したり説明したりすることに課題が見られました。

【平均正答数】

| | 令和７年度 | | 令和８年度 | |
|---|---|---|---|---|
| | 東大阪市 | 大阪府 | 東大阪市 | 大阪府 |
| わくわく問題（5 年） | 5.6/9 問 | 6.0/9 問 | 4.8/9 問 | 5.2/9 問 |
| わくわく問題（6 年） | 6.5/9 問 | 6.8/9 問 | 5.7/9 問 | 6.2/9 問 |
| 国語・5 年 | 11.1/17 問 | 11.8/17 問 | 11.4/17 問 | 12.0/17 問 |
| 算数・5 年 | 3.9/6 問 | 4.1/6 問 | 2.8/6 問 | 3.1/6 問 |
| 理科・5 年 | 6.6/12 問 | 7.2/12 問 | 6.2/11 問 | 6.6/11 問 |
| 理科・6 年 | 実施なし | | 6.7/11 問 | 7.0/11 問 |

### ＜アンケート＞

○児童アンケートから、友だちと協力することや相手の考えを理解しようとすること、新しいことに挑戦したり自ら調べたりすることについて肯定的な回答が多く、他者と関わりながら主体的に学ぼうとする姿勢がうかがえました。

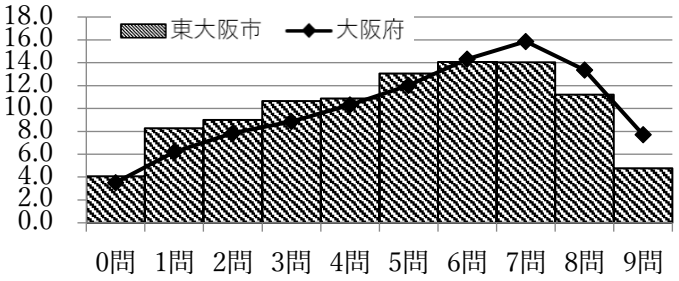
○教師アンケートから、１人１台端末を活用しながら、児童が主体的に学び、互いの考えを交流する学習活動の充実に取り組んでいる傾向がうかがえました。

### ＜今後の取組み＞

複数の情報を関連付けて考えたり、根拠をもとに自分の考えを表現したりする力の育成に向けて、資料や情報を活用しながら課題を解決する学習活動の充実を図ります。また、アンケート結果から見られた主体的に学ぼうとする姿勢を生かしながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、一人一台端末等を活用した「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していきます。

## 【わくわく問題】小学校５年実施

| | 平均正答数 |
|---|---|
| 東大阪市 | 4.8/9 |
| 大阪府 | 5.2/9 |




| 分類 | 区分 | 平均正答率(%) 市 | 府 |
|---|---|---|---|
| 観点 | A　図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。 | 52.6 | 57.5 |
| | B　図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。 | 47.4 | 52.3 |
| | C　図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。 | 56.2 | 60.9 |
| | D　図や表，グラフ，短い文章，会話文等の内容を関連付けて，それをもとに自分の考えをまとめ，伝える。 | 61.0 | 65.4 |
| | E　興味・関心のある事がらについて、意欲的に工夫して相手に伝える。 | 70.6 | 74.3 |

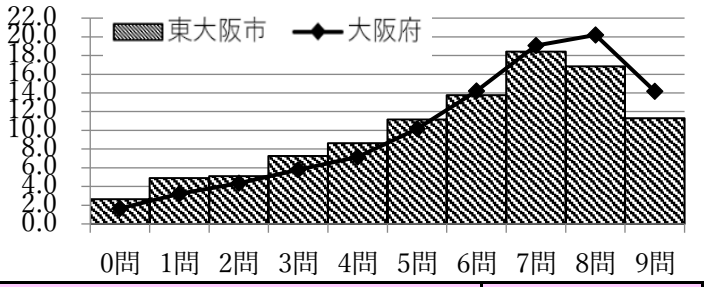
【よかった点】・興味・関心のある事がらについて工夫して伝えることや、自分の考えをまとめて表現すること。

【課　　題】・複数の資料や情報を関連付けて読み取り、根拠をもとに論理的に考えること。

【指導改善のポイント】・図や表、文章、会話文など複数の情報を比較・関連付けながら読み取る学習活動を充実させるとともに、根拠を明確にして自分の考えを表現する力の育成を図ること。

## 【わくわく問題】小学校６年実施

| | 平均正答数 |
|---|---|
| 東大阪市 | 5.7/9 |
| 大阪府 | 6.2/9 |




| 分類 | 区分 | 平均正答率(%) 市 | 府 |
|---|---|---|---|
| 観点 | A　図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる。 | 63.3 | 68.4 |
| | B　図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える。 | 58.9 | 63.8 |
| | C　図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える。 | 68.3 | 73.6 |
| | D　図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える。 | 71.8 | 76.6 |
| | E　興味・関心のある事がらについて，意欲的に工夫して相手に伝える。 | 79.0 | 76.6 |

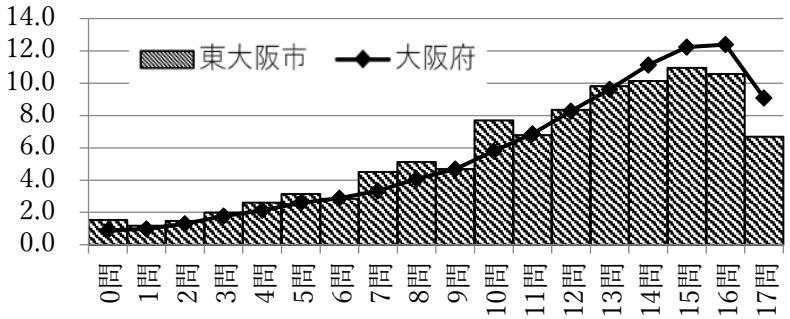
【よかった点】・内容を関連付けて新たな課題を考えること、自分の考えを工夫して相手に伝えること。

【課　　題】・複数の資料や情報を関連付けて正しくとらえること、それをもとに論理的に考えること。

【指導改善のポイント】・複数のメディアから得た情報を関連付けて読み取らせるとともに、根拠を明確にしながら自分の考えを表現する学習活動を積極的に行うこと。

## 【国語】小学校５年実施

| | 平均正答数 |
|---|---|
| 東大阪市 | 11.4/17 |
| 大阪府 | 12.0/17 |




| 分類 | 区分 | | 平均正答率(%) 市 | 府 |
|---|---|---|---|---|
| 学習指導要領等の領域等 | 知識及び技能 | （１）言葉の特徴や使い方に関する事項 | 68.2 | 69.8 |
| | | （２）情報の扱い方に関する事項 | 72.6 | 75.6 |
| | | （３）我が国の言語文化に関する事項 | 69.7 | 72.5 |
| | 思考力・判断力・表現力等 | 書くこと | 65.1 | 67.8 |

【よかった点】・文と文との関係を捉えて内容を正しく理解すること、目的に応じて必要な情報を読み取ること。

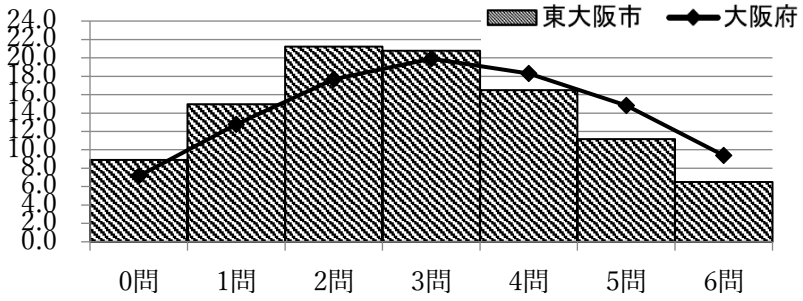
【課　　題】・主語と述語の関係を正しく理解すること、文の構成を踏まえて適切に表現すること。

【指導改善のポイント】・主語と述語や修飾と被修飾の関係について系統的に指導するとともに、文相互の関係を意識して内容を捉え、自分の考えを適切に表現する学習活動を積極的に行うこと。

・AI ドリル等を積極的に活用し、日常生活での活用を意識した学習活動を行うこと。

## 【算数】小学校５年実施

| | 平均正答数 |
|---|---|
| 東大阪市 | 2.8/6 |
| 大阪府 | 3.1/6 |




| 分類 | 区分 | 平均正答率(%) 市 | 府 |
|---|---|---|---|
| 学習指導要領等の領域等 | 数と計算 | 34.0 | 39.3 |
| | 図形 | 47.9 | 52.1 |
| | 測定／変化と関係 | 50.0 | 54.0 |
| | データの活用 | 58.1 | 64.4 |

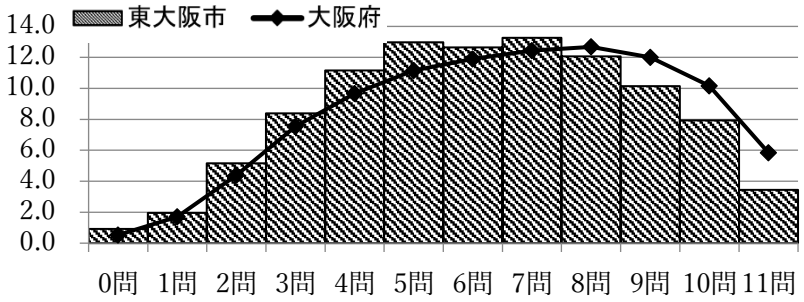
【よかった点】・数量の関係や図形の性質について理解すること、既習事項を活用して問題を解決すること。

【課　　題】・問題場面から必要な情報を整理すること、それらを関連付けて筋道を立てて考えること。

【指導改善のポイント】・数量や図形に関する情報を整理して考える活動を充実させるとともに、既習事項を根拠として問題解決の方法や考え方を説明する学習活動を積極的に行うこと。

## 【理科】小学校５年実施

| ５年生 | 平均正答数 |
|---|---|
| 東大阪市 | 6.2/11 |
| 大阪府 | 6.6/11 |




| 分類 | 区分 | 平均正答率(%) 市 | 府 |
|---|---|---|---|
| 学習指導要領等の領域等 | 「エネルギー」を柱とする領域 | 49.1 | 52.8 |
| | 「粒子」を柱とする領域 | 75.8 | 78.7 |
| | 「生命」を柱とする領域 | 56.6 | 57.3 |
| | 「地球」を柱とする領域 | 55.6 | 60.8 |

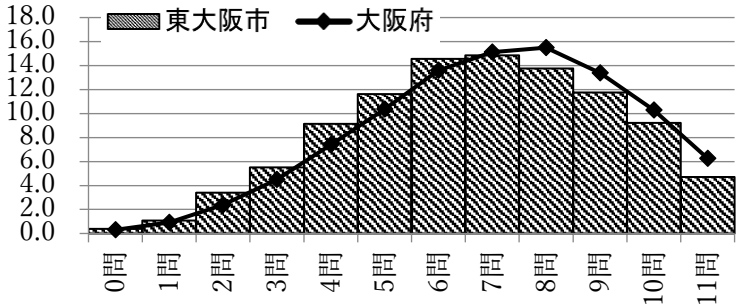
【よかった点】・自然の事物・現象について観察や実験の結果をもとに考えること、学習した内容を活用して現象を説明すること。

【　課　題　】・観察や実験の結果とその根拠を関連付けて考えること、条件に着目して科学的に考察すること。

【指導改善のポイント】・観察や実験で得られた結果と根拠を関連付けて考察する活動を充実させるとともに自然の事物・現象について予想や考察を自分の言葉で表現する学習活動を積極的に行うこと。

## 【理科】小学校６年実施

| ６年生 | 平均正答数 |
|---|---|
| 東大阪市 | 6.7/11 |
| 大阪府 | 7.0/11 |




| 分類 | 区分 | 平均正答率(%) 市 | 府 |
|---|---|---|---|
| 学習指導要領等の領域等 | 「エネルギー」を柱とする領域 | 57.2 | 62.4 |
| | 「粒子」を柱とする領域 | 61.1 | 63.7 |
| | 「生命」を柱とする領域 | 52.4 | 54.1 |
| | 「地球」を柱とする領域 | 65.0 | 68.4 |

【よかった点】・自然の事物・現象について理解したことを活用して考えること、観察や実験で得られた結果と日常生活の事象を結び付けて考えること。

【　課　題　】・自然の事物・現象についての知識や技能を身に付けること、それらを根拠として考えること。

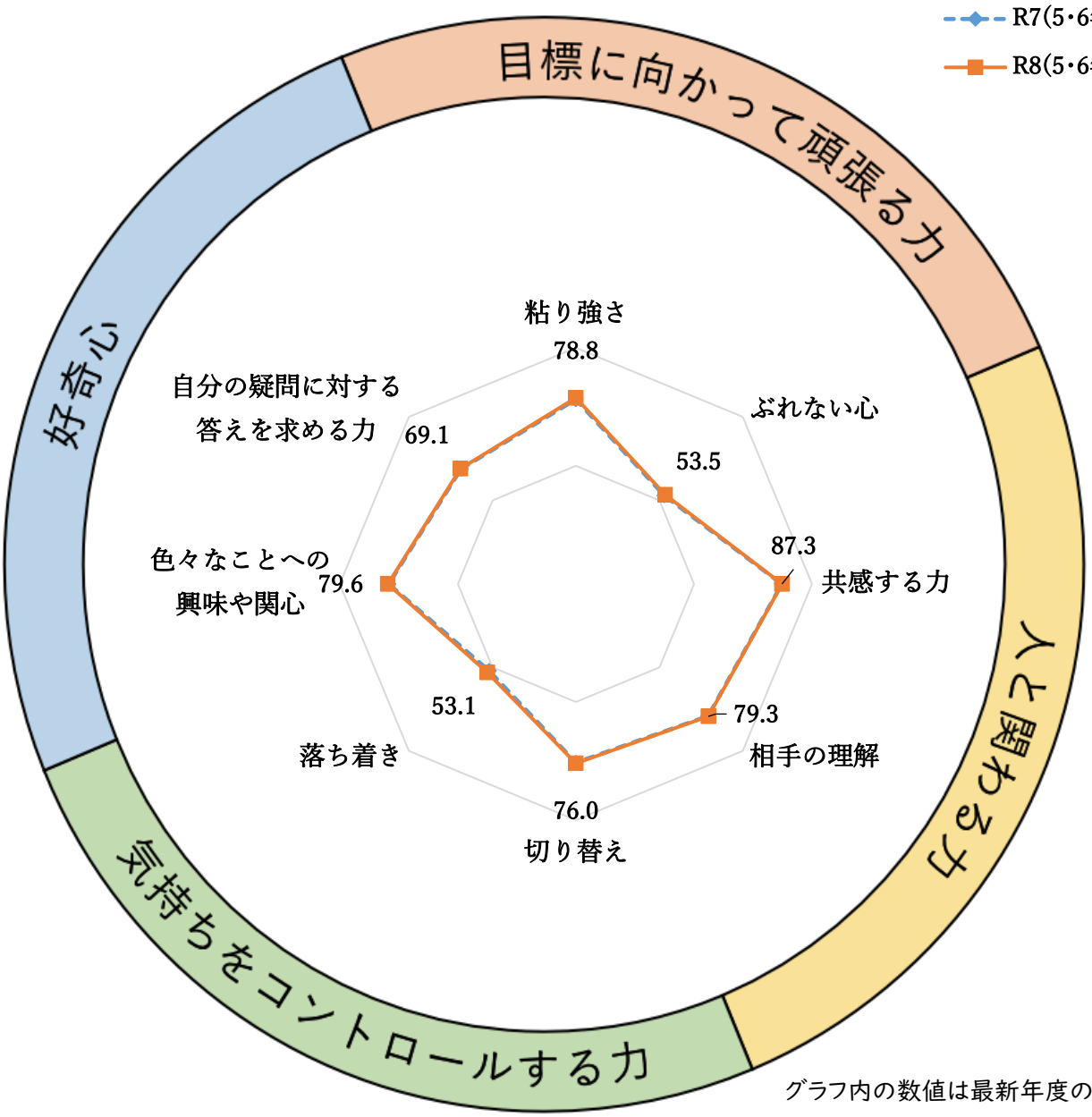
【指導改善のポイント】・観察や実験を通して基礎的な知識や技能の定着を図るとともに、得られた結果を根拠として自然の事物・現象について考察する学習活動を積極的に行うこと。

# 児童アンケート（抜粋）

≪「児童自身の未来に向かう力」に関する項目≫

| 未来に向かう力と好奇心 | 項目名<br>項目ごとに３つの質問・５段階で回答<br>（3×５＝１５） | R7 | | R8 | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | 平均 | ポイント | 平均 | ポイント |
| 目標に向かって頑張る力 | 粘り強さ | 11.7 | 78.2 | 11.8 | 78.8 |
| | ぶれない心 | 7.9 | 52.9 | 8.0 | 53.5 |
| 人と関わる力 | 共感する力 | 13.1 | 87.2 | 13.1 | 87.3 |
| | 相手の理解 | 11.9 | 79.1 | 11.9 | 79.3 |
| 気持ちをコントロールする力 | 切り替え | 11.4 | 75.7 | 11.4 | 76.0 |
| | 落ち着き | 7.8 | 52.0 | 8.0 | 53.1 |
| 好奇心 | 色々なことへの興味や関心 | 11.9 | 79.3 | 11.9 | 79.6 |
| | 自分の疑問に対する答えを求める力 | 10.3 | 68.8 | 10.4 | 69.1 |

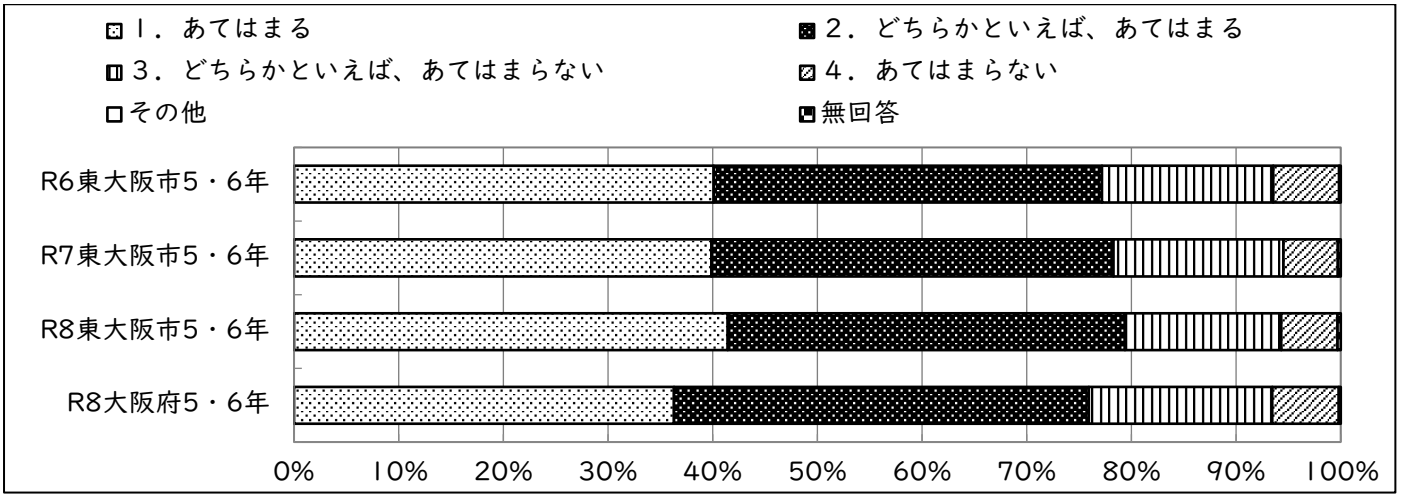
※ポイント：児童一人ひとりの回答から平均を算出し、その平均を項目の合計(15)で除して百分率で換算した値【ポイント=平均÷合計×100】



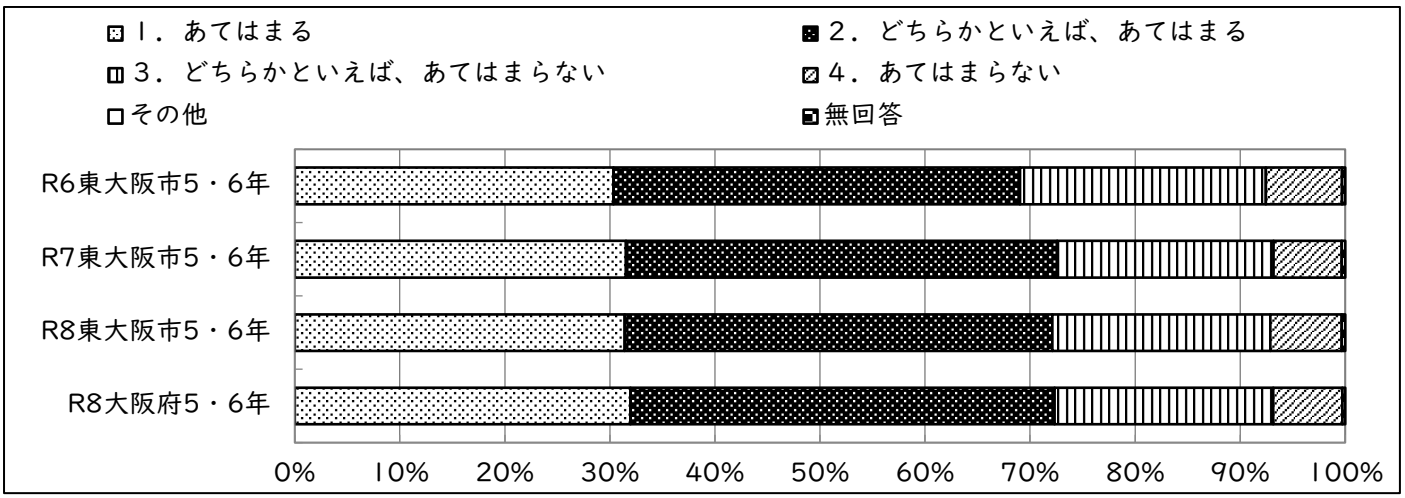

グラフ内の数値は最新年度の結果を表示

≪「学びに関わること」や「学びを生活に生かすこと」に関する項目≫

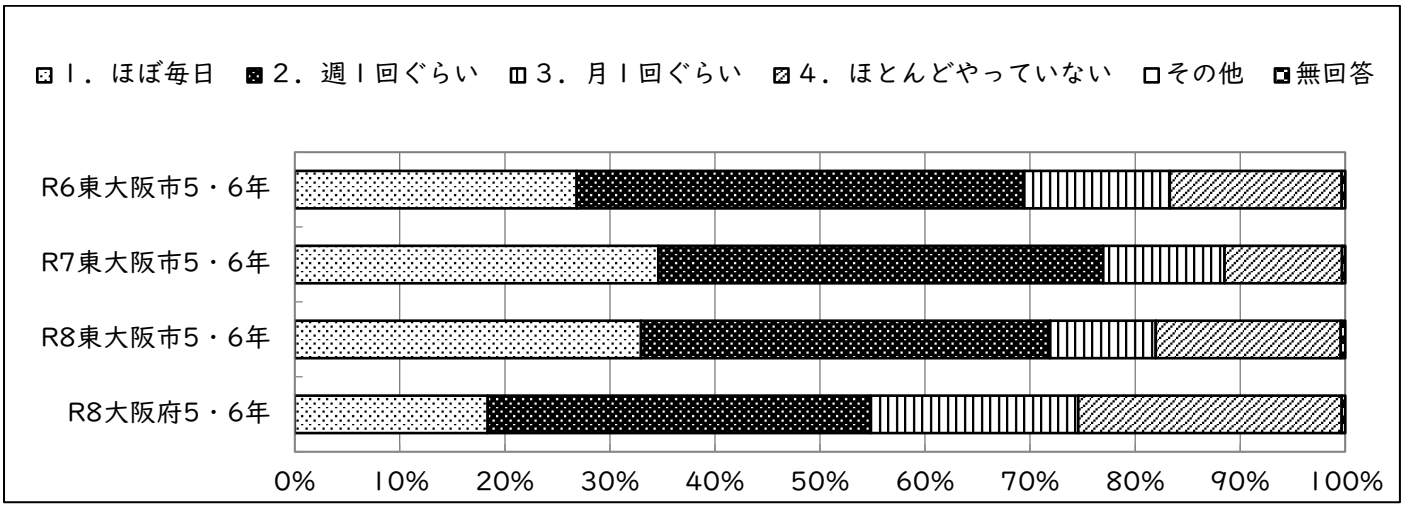
○その時間に学んだことについて、ふり返りをしている




○話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている

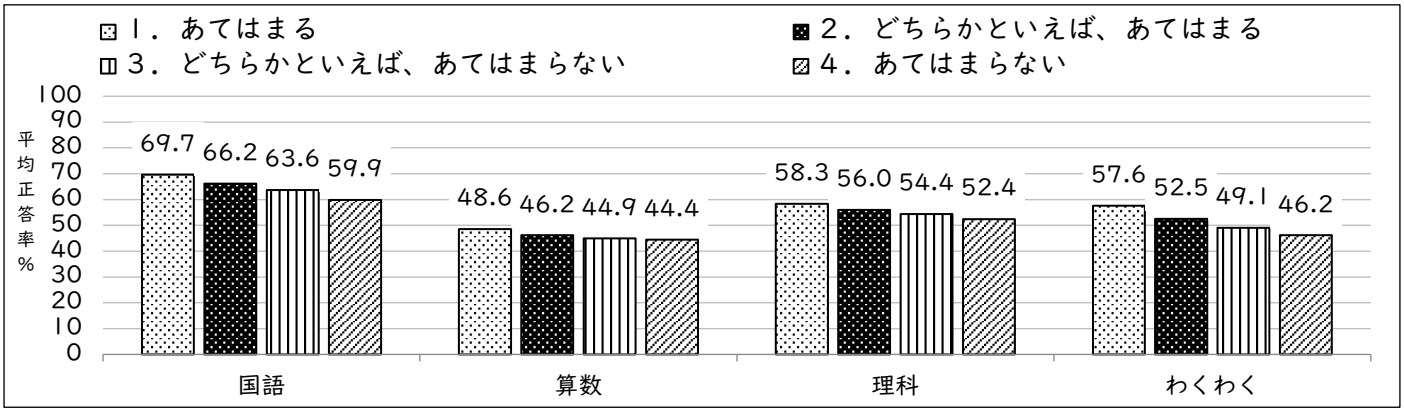



○授業で、コンピュータやタブレットを使って、自分の考えを書きこんだり、友だちと意見を交流したりすることはどれくらいありますか

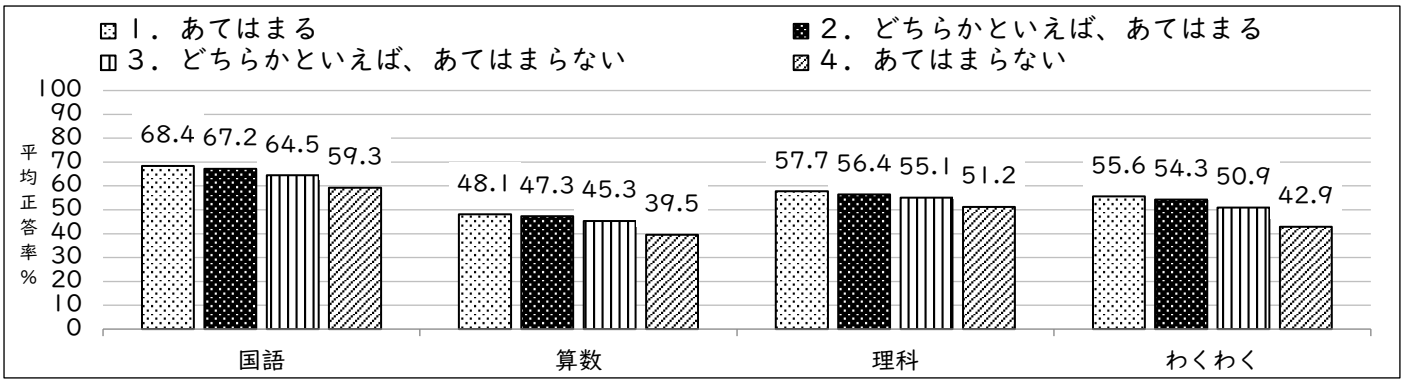


## クロス集計　5年児童アンケート × 3教科・わくわく問題の平均正答率（抜粋）

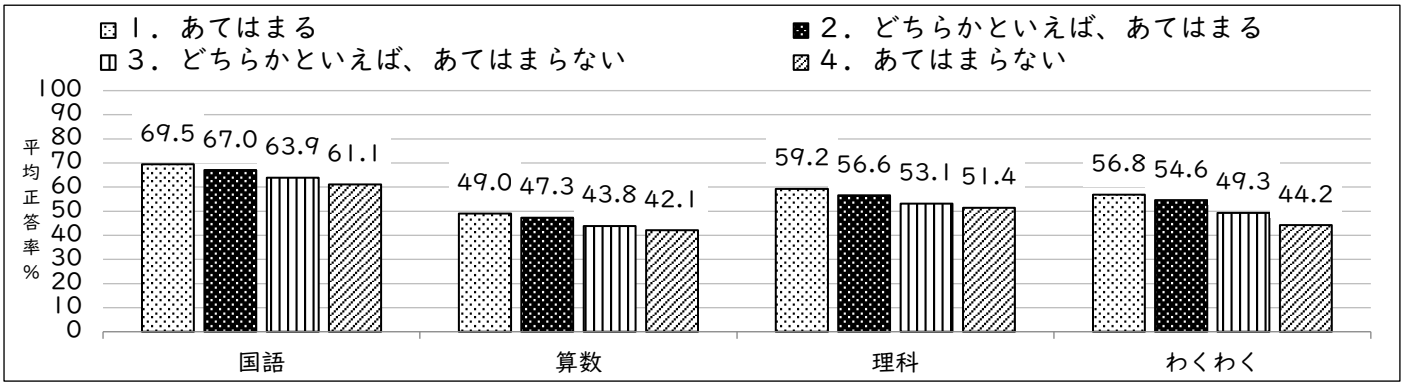
○その時間に学んだことについて、ふり返りをしている



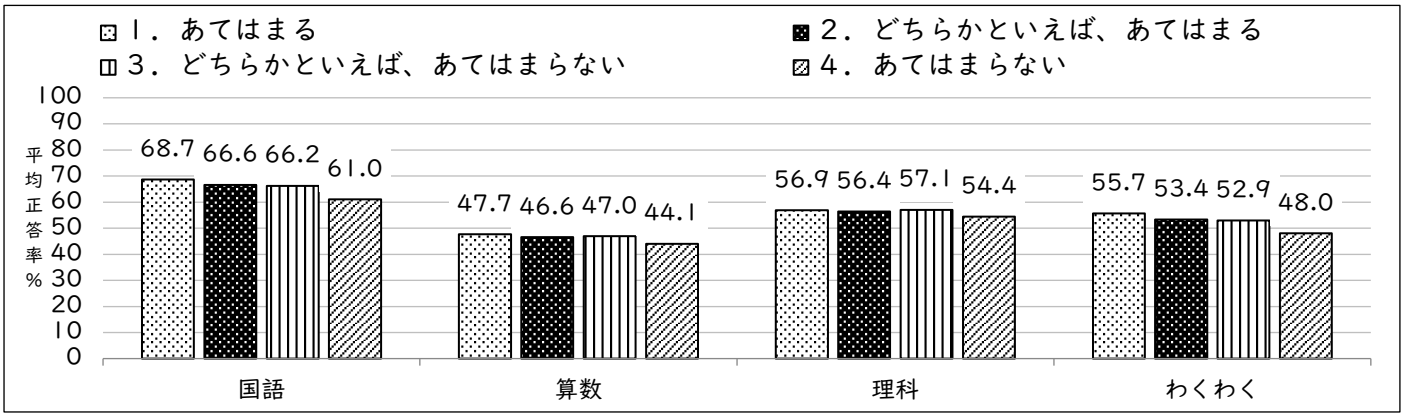

○わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネット等で調べている




○文章を読むとき、どこが大事なところか考えながら読んでいる

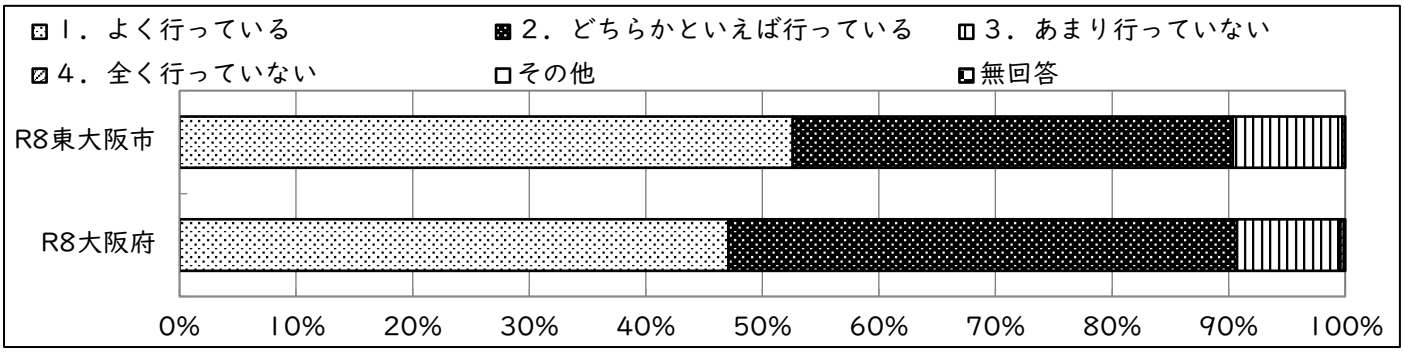



○先生や友だちが話していることで、大事だと思ったことをノート等に書いている

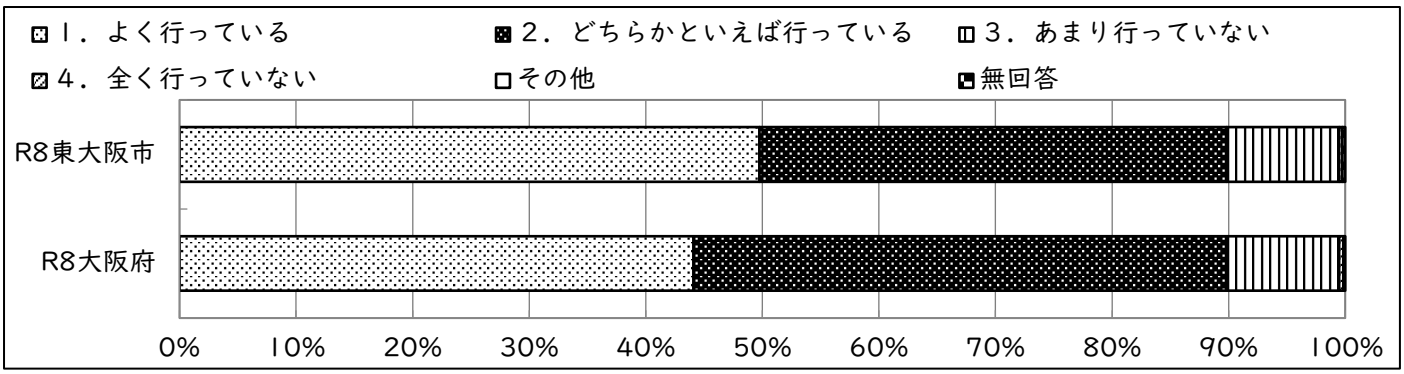


# 教員アンケート（抜粋）

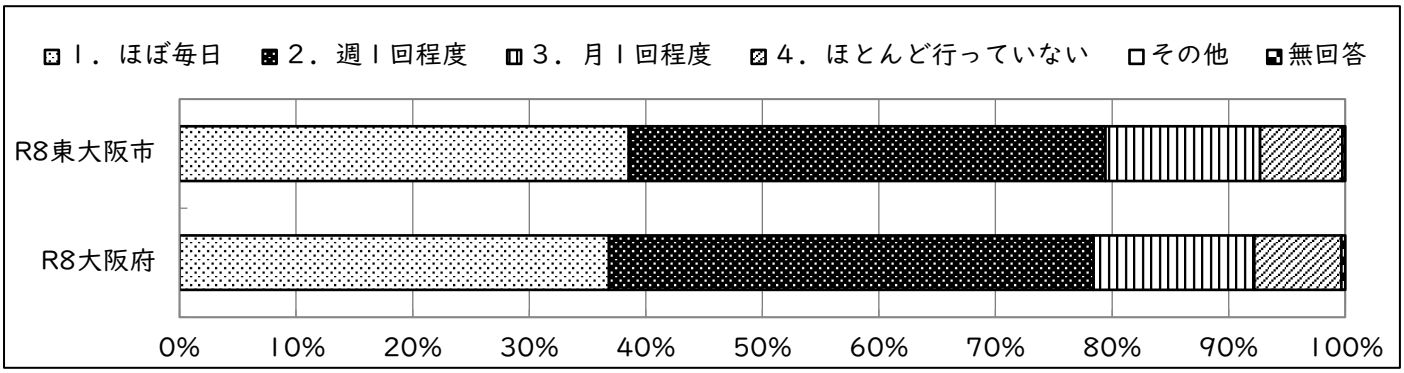
○児童に授業で学んだことのふり返りをさせていますか



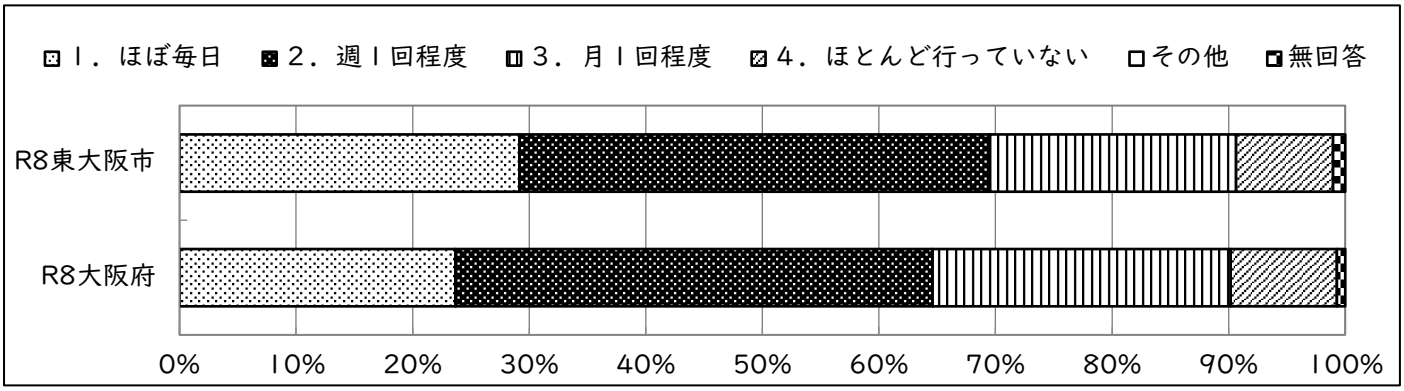

○ふり返りの中で、その授業で何を学んだか児童に考えさせていますか



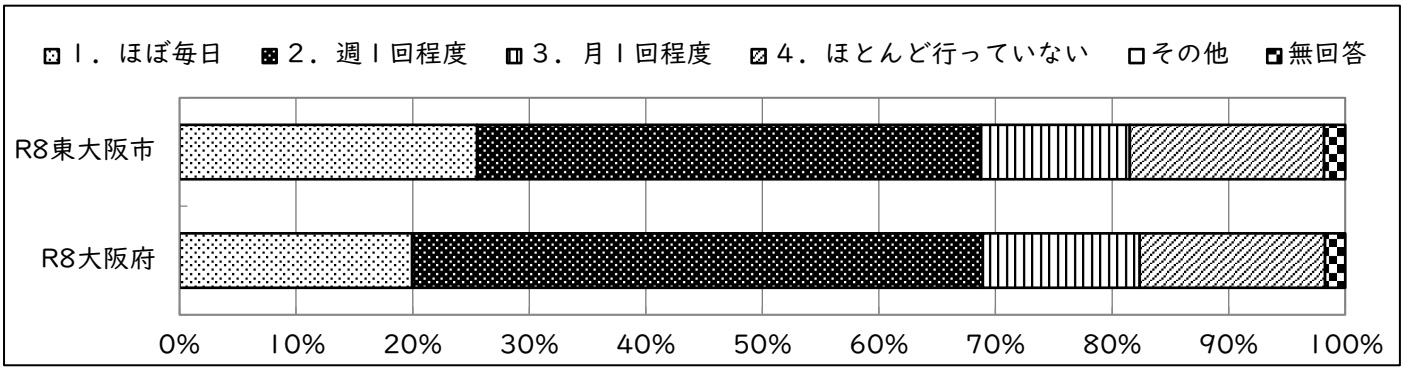

○児童一人ひとりの実態に応じた教材の準備ができていますか



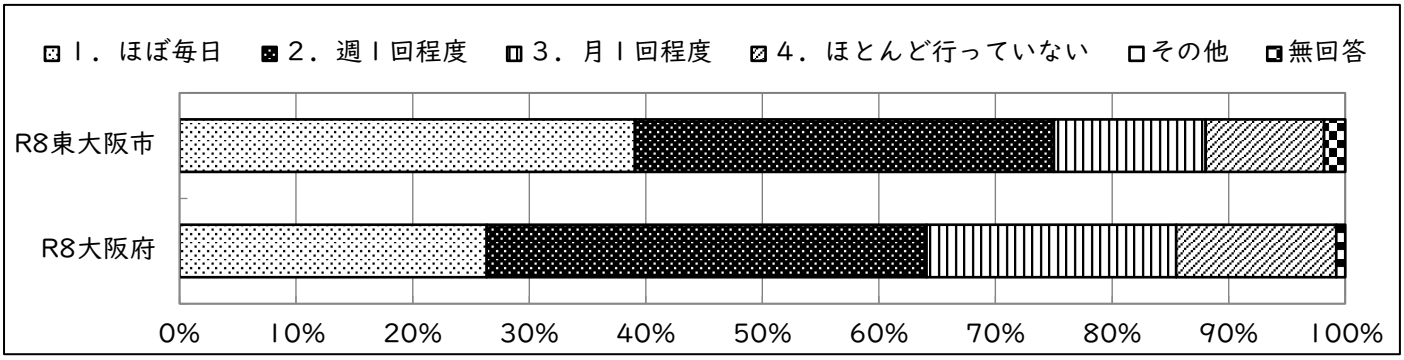

○児童が課題を解決するために進んで資料を集めたり取材をしたりするような授業をしていますか



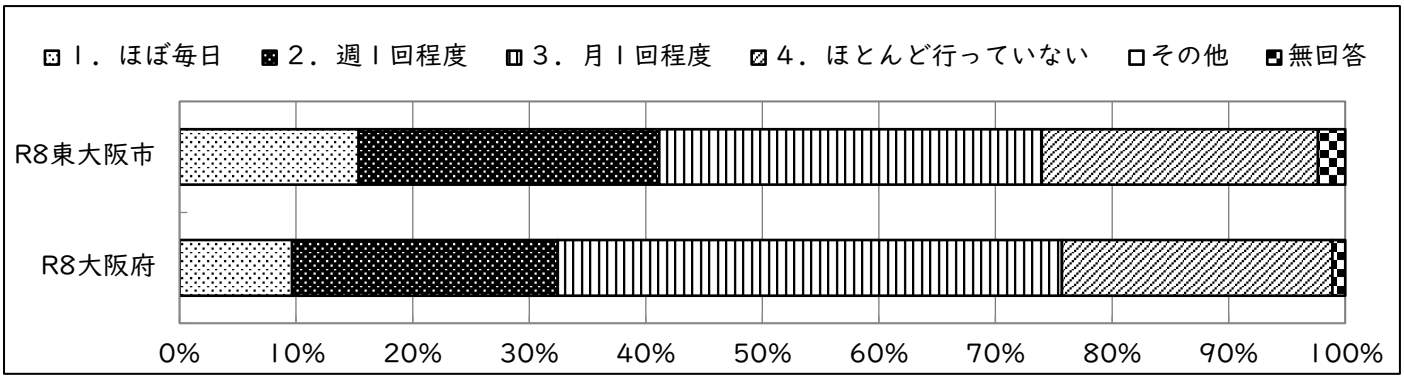
○児童が主体的に本を読むような取組みをしていますか



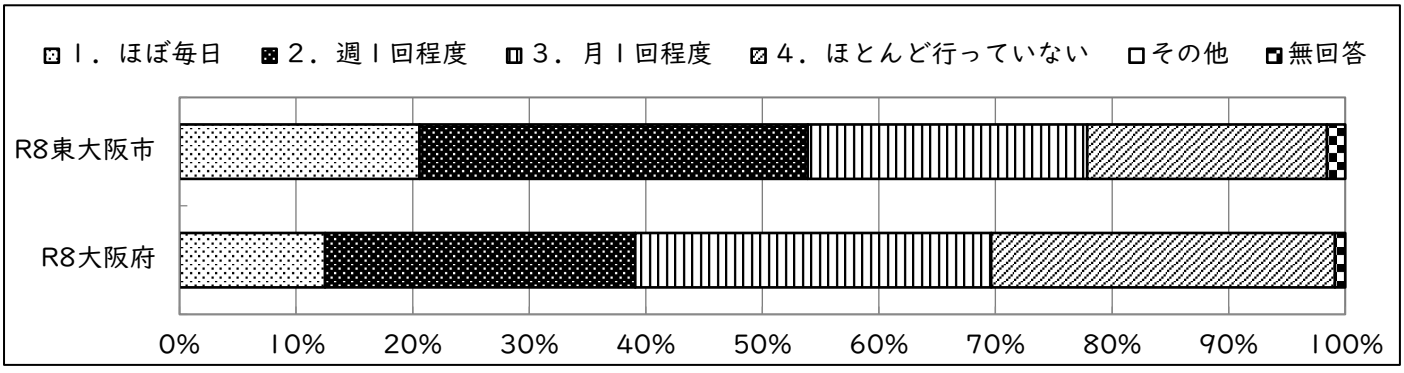

○コンピュータやタブレットを使って、児童が自分の考えを書きこんだり、まとめたりして、考えを共有する授業をしていますか




○コンピュータやタブレットを使って、プレゼンテーション資料等にまとめて発表する授業をしていますか




○コンピュータやタブレットを使って、児童が考えを共有したり発表したりした後に、感想やアドバイス等をコンピュータやタブレットで伝え合う活動をしていますか



## 児童アンケートより

○「児童自身の未来に向かう力」に関する項目では、「粘り強さ」「共感する力」「相手の理解」などにおいて肯定的回答率が高く、「好奇心」に関する項目についても前向きな傾向が見られました。また、令和７年度との同一学年比較では、すべての項目でポイントが上昇しており、本市児童の非認知能力の育ちが継続して見られます。

○「学びに関わること」や「学びを生活に生かすこと」に関する項目では、授業のふり返りやICT を活用した学習に関する肯定的回答率が比較的高い傾向にあります。このことから、児童が自らの学びを見つめ直しながら学習を進めるとともに、ICT を活用して主体的に学ぶ機会が充実していることがうかがえます。

## クロス集計　5年児童アンケート×3教科・わくわく問題の平均正答率より

○全体的に、アンケートに肯定的回答をしている児童ほど、３ 教科及びわくわく問題の平均正答率が高い傾向が見られます。特に、「新しいことに挑戦することが好きだ」「話し合う場面で自分の考えを深めたり広げたりしている」「わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネット等で調べている」「授業で学んだことを、ふだんの生活にいかすようにしている」などの項目において、肯定的に回答した児童ほど平均正答率が高い傾向が見られました。このことから、児童が自ら学習課題に向き合い、他者との対話や情報活用を通して学びを深めることや、学習内容を生活と関連付けて考えることが、学力の向上につながる重要な要素であることがうかがえます。

## 教員アンケートより

○授業づくりに係る項目では、「児童が課題を解決するために、進んで資料を集めたり取材をしたりするような授業をしていますか」について、「ほぼ毎日」「週１回程度」の回答割合の合計が69.5%となり、大阪府平均（64.6%）を上回っています。また、「児童一人ひとりの実態に応じた教材の準備ができていますか」においても、大阪府平均を上回る結果となっており、教員が児童の実態や学習課題を踏まえながら、主体的な学びを支える授業づくりに取り組んでいることがうかがえます。

○ふり返りに係る項目では、「児童に授業で学んだことのふり返りをさせていますか」「ふり返りの中で、その授業で何を学んだか児童に考えさせていますか」の肯定的回答率がそれぞれ90%を超え、大阪府平均を上回っています。このことから、教員が児童自身による学びの振り返りを重視し、学びを自覚化・構造化することで、主体的に学び続ける力の育成を意識して指導していることがうかがえます。

○ICT 活用に係る項目では、「必要な情報を調べる授業」「自分の考えを書き込んだり共有したりする授業」「考えや発表後に感想やアドバイスを伝え合う活動」などにおいて、大阪府平均を上回る結果が見られました。このことから、教員は ICT を学習ツールとして効果的に活用し、児童が情報を収集・整理しながら他者と考えを共有し、対話的に学ぶことができる授業づくりを推進していることがうかがえます。

## 令和８年度　「小学生すくすくウォッチ」調査概要

**目　的**　子どもたち一人ひとりが、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につける。

**実施日**　令和８年４月22日（水）～　４月30日（木）※実施日は各学校が決定する。

**実施児童数**　（東大阪市）５年生：3077名　/　６年生：3117名　/　計：6194名

**内　容**　５年生：国語・算数・理科・わくわく問題（教科横断型問題）・アンケート
６年生：わくわく問題（教科横断型問題）・アンケート

≪わくわく問題（教科横断型問題）について≫（5、６年生共通問題：40分）

〇特定の教科の枠にとらわれず、複数の文章や資料から情報を読み取ったり、問いに対して判断の根拠や理由を明確にして自身の考えを表現したりする力を問う問題等日常の活動や現代的な諸課題（SDGｓ・プログラミング的思考）等をテーマとして、文章やグラフ等の様々な資料を題材に、資料を読み取ったり、自分の考えを表現する力を問う問題

〇答えが一つでない問いもある

≪各教科（5年生：国語・算数・理科　６年生：理科）について≫（各20分）

〇前の学年までにそれぞれの教科で学習した内容から出題

〇当該学年までに定着すべき学習内容で、基礎的な知識及び技能とともに、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を問う問題等

〇言語能力・読解力の基盤となる基礎的基本的な言葉等の理解や文章に書かれている意味を正確に捉える力（リーディングスキル）等

≪アンケートについて≫（20分）

〇児童自身の未来に向かう力（目標に向かって頑張る力、気持ちをコントロールする力、人と関わる力）、次の学びや生活にいかす力、好奇心等に関する内容や、学習状況、学級や授業等に関する意識等（タブレット端末を活用し、オンラインによる回答方式にて実施）

≪問題について≫

〇大阪府のホームページ上にウェブアップされています。
https://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/sukusuku/index.html